

B 大学サッカー部におけるスパイクの調査・分析 —スパイクの歴史・時代の移り変わり—

久保 賢悟 (生涯スポーツ学科 地域スポーツコース)
指導教員 新井 博

キーワード：スパイク，機能性，価格，デザイン

1. 緒言

私は幼少期からサッカーに携わり、プレーをする上でスパイクの重要性をととても感じている。そこで、選手のスパイクに対するこだわりについて研究することにした。

プロを目指す選手やそれ以外の選手がいるびわこ成蹊スポーツ大学サッカー部の選手は、スパイク購入時、何を重視してスパイクを選んでいるのか明らかにする。またスパイクの歴史と共に現在使用されているスパイクの違いを調査する。スパイクへのこだわりを理解し、各選手に合ったスパイクの選び方やスパイクの開発に役立てることを目的とした。

2. 研究方法

B 大学サッカー部員 100 名に対しインタビュー調査を実施した。「スパイクの併用数」「現在本格的に使用しているスパイク 1 足のブランド名」「スパイク購入時の決め手」の項目について、結果とその理由を明らかにし、各部員が持つこだわりを調査した。そして、B 大学サッカー部員における理想のスパイク像を明らかにした。

また、スパイクの進化については、文献やインターネットによる調査を行い、昔と今のスパイクの機能性や、デザインの違いを明らかにした。

3. 結果と考察

スパイクを使用する選手の要望に応え、研究

開発を行っているため、選手の声がスパイクの進化に欠かせないことが明らかとなった。

機能性では 4 つのポイントが挙げられた。インソール、グリッド、皮革、重量の 4 項目がダッシュ、切り替えし、踏ん張り、ボールタッチなどプレーパフォーマンスに直接関わるものが明らかになった。さらに、デザインや価格は購買意欲を掻き立てる要因として、大きな役割を担っていることが明らかになった。

スパイクの併用数については、予め仮定していたように 2 足を併用している選手が多数を占めた。しかし、2 足を併用する選手の中でも試合用と練習用スパイクという 2 つの用途だけでないことが明らかになった。使用スパイクのメーカーについては、予め仮定していたようにミズノが多く使用されていることが明らかになった。スパイク購入時のポイントについては、予め仮定していたフィット感やデザインは決め手として重要であることが分かった。また、皮革やスタッドの形、経済的理由、重量など様々なポイントが存在することが明らかになった。

4. 参考文献

- 1)岡崎慎司 (2014) 鈍足バンザイ 幻冬舎
- 2)中澤佑二 (2014) へたくそ ダイヤモンド社
- 3)元川悦子 (2012) 僕らがサッカーボーイズだった頃 KANZEN